

# ドイツNOW 特別号

2020.2.16 発行  
国際交流委員会  
2年 坂倉・中村

## ～交流を通して学んだこと～

今年度、ドイツの姉妹校であるルドヴィヒ・ライヒハート校の大宮高校訪問がコロナの影響で中止となりました。そこで、国際交流委員では、日本語を選択して学んでいる10年生の生徒との交流を計画し、当初の予定では11月当初にZOOMを使ってオンラインで会話を楽しむことになっていましたが、ドイツの新型コロナウイルスの状況が悪化したため、12月にメールを使っての交流になりました。

第一回目ではお互いの国の状況や学校に関することについて情報交換しました。それぞれのトピックについて学んだことを紹介します。

### 【学校生活について】

- ・授業は？—90分で1日に3～4時間あります。14教科あって、1クラスは30人くらいです。
- ・クラブ活動は？—学校にクラブ活動はたくさんありますが、私たちは入っていません。
- ・学校の魅力は？—庭と壁画が好きです。
- ・好きな行事は？—毎年クリスマスの前にはみんなでクリスマスソングを歌ったり、バレーボールのトーナメント戦をしたりして盛り上がります。また、年に一回タレントショー（演芸大会）があって、特技のある生徒が出場します。
- ・夏休みは？—6週間で、学校は閉まっていて、課題は出ません。夏休みは友達と遊んだり家族とのんびり過ごしたりするためのものとされています。

\*日本の夏休みは課題が多い上に、実際の休みが短いのでとてもうらやましいと思いました。

### 【環境問題への取り組み】

\*ドイツは環境への意識が高いイメージがあったので、それに関する様々な質問をしました。

#### ドイツで行われている活動

- ・買い物の際のエコバッグの持参
- ・環境に優しい原料から出来ているプラスチックストローの使用
- ・ペットボトルや缶を回収して少額を返金するデポジットという制度の普及
- ・電気自動車を購入した際の政府からの支援
- ・太陽エネルギー活用の促進
- ・公共交通機関の積極的な利用

\*日本では始まったばかり、もしくはあまり見受けられない活動がドイツでは当たり前のことのように、無意識のうちに彼らは環境保護に貢献しているようでした。また、原子力発電については、事故が起こった際の危険を考慮してほとんどのドイツ人が反対しているようです。

## 【コロナ禍の状況について】

- すべての公共のイベントやスポーツはキャンセルされました。
- レストランもジムも閉まっています、街は活気がありません。
- 自由時間の活動が何もできなくて、旅行もいけません。
- 学校では1日中マスクをして、いつでもソーシャルディスタンスをとらなくてはなりません。
- 休校中は課題がオンラインで出ました。Online クラスはありませんでした。
- 1回目のロックダウンは学校が全部休みですが、2回目（11月）は一部です。

\* 日本と似ていることもあります、もっと深刻なことなどがわかりました。

\* 私たちからのメールで、店やレストランが開いていることを知って、ドイツの皆さんはとても驚いたそうです。

\* その後、12月にドイツのロックダウンは1回目と同じように厳しくなりました。日本語の先生からのメールでは、姉妹校でも高1と高3以外の学年の登校がいつ始まるのが未定で、お子さんの小学校は2カ月ずっと休校しています。店もレストランも開いていませんが、前年度の収入の75%が政府から保障されているそうです。

## 移民(immigrant)・難民(refugee)について】

- コトブスにはたくさんの移民がいる。
- 移民の文化について学ぶことは興味深い。
- 移民の政策については多くの議論がされている。
- 移民だからといって何も変わらない。私を傷つけることもありません。
- ドイツにとっては移民が増えることは問題でなく、チャンス。
- 難民に対しての偏見も問題もない。彼らは私たちと同じ人間です。
- 難民は社会的絆を深め、英知を与えてくれる。
- 難民は同じクラスにはいない。ドイツ語を学ぶための特別クラスにいる。
- 政府の支援で多くの国民は難民について理解しているが、理解したくない人もいる。
- 難民はドイツにとっては問題ではないが、難民は多くのリスクを負っていると思う。

\* このテーマは自分たちが知らないことが多く、担当の先生にアドバイスをさせていただきながら情報交換しました。自分の国のことをまず知り、尚且つ外国の方々に誤解なく伝えることが大切だと学びました。また、英語で質問に回答しようとする、誤解を生じやすい文章になってしまい、とても難しかったです。

\* ドイツは移民受け入れ第2位 1,300万人（1位はアメリカ 5,000万人）、難民受け入れ第4位 110万人（1位はトルコ 370万人）の国で、移民や難民についての意見はとても肯定的でした。日本は移民受け入れ 26位 250万人ですが、近年は急増している一方、難民はほとんど受け入れていません（2018年認定数 43人 認定率 0.4%）。外国人労働者や実習生の苦境や、難民申請が受け入れられないまま日本に滞在している人たちの生活など、私たちは世界の状況を知るとともに、日本の問題を知る機会を増やしていかなければならないと思いました。

## 【ドイツ生からの質問】

### Corona

- We had 660.00 people infected with Corona in Germany, how about japan?
- In Germany we have to wear masks at school and at stores also restaurants are closed, how about in japan?
- If we don' t wear masks in Germany at stores, we have to pay fines and they start at about 15 euros. Does the situation annoy you? (ドイツではマスクをしないと罰金！)
- How does Corona influence your life out of school?

### Environmental problems

- What are the biggest environmental problems in Japan?
- In Germany we recycled plastic, glass, paper and organic waste. What do you do with them?
  - In Germany we have many forests. How many forests do you have in Japan?
  - Are the cities very polluted?
- In Germany many teens go to Friday for future demonstrations, do you know Fridays for future in Japan? Greta Thunberg is the head of the demonstrations: do you know her? (ドイツでは大勢の若者がグレタさんの「未来のための金曜日行動」に参加している。)

### Refugees

- In Germany we have approximately 1.8 million refugees and only 40% of their asylum applications get accepted. How about Japan? (難民認定率は40%のみ。。。)
- Most of our tefugees are from Syria, how about the refugees in Japan?
- Do you have refugees in your class or do you have extra classes only for refugees?

### School

- How long is your way to school? • When do your school start/end?
- We don't homework. Do you like homework?
- After school when we got home, we spend like 30min to 2 hours for homework and studying. How much time do you spend on homework/studying? (家庭学習時間 30分から2時間！)
- Does your school offer class trips or similar activities?

### Random questions

- Many teens in the age of 16-19 go to house parties and normal parties in Germany. Is it common in japan to go to parties at this age? (16歳になるとパーティーに！)
- In Germany we eat often potato and “Quark” (yogurt and other milk products) and “Schnitzel” (fried pig and calf). What do you have as traditional food in Japan?

### Extra Information

- The German news do not really broadcast much news about Japan. We have a lot of documentaries about Japan, Japanese food etc. They often show things which are totally strange to us. (日本のニュースはあまり報道されない。ドキュメンタリーの中の日本はドイツと全然違う。)

## 【交流に参加した大高生の感想】

★日本語で自己紹介を送ってくれたことがとても嬉しかったです。その他にも、日本の歴史や自然に興味があるという人や、お花見をしたいなどといったことを教えてくれました。日本の文化に興味をもってくれていることも実感し、より日本の文化の良さを伝えたいとも思いました。

▶交流を通して、自分が話している状況がいつのことなのかなど、しっかり明記しないと正しく情報を伝えられないことを学びました。目まぐるしく社会情勢が変わっていくなかで誤解を生まないように配慮することが大事だと改めて実感しました。

★自分が質問する時にはよくその事について知らないといけないことを学びました。

▶ドイツの生徒が世界の問題や状況についてどのように感じているのかはなかなか知る機会がないので面白かったです。

★コロナや環境問題に対する日本とドイツの意識の違い、もしくは共通の部分がわかりました。それぞれの良いところを意識したり発信したりすることが大事だと思いました。

▶このような状況下にあるからこそ、他の国がどのような状態になっているかについて興味を持つことができた。協力をするのと、関心を持つことの大切さを学んだ。

★コロナで計画通りに行かないこともありましたが、ちゃんとドイツの人と交流ができて良かったです。インターネットが普及していなければ叶わなかったことばかりだったので、改めて国際化が進みやすくなったなと感じました。

▶今後はドイツのことだけでなく、世界に目を向けて、ドイツ人との交流でも世界のことについて話したいと思いました。

★今回は決められたトピックでしたが、もっとラフな会話も楽しみたいと思ったのでより英語の勉強に力を入れていきたいです。

来年こそは来校が実現して、全校生徒で交流ができるといいと思います！

## Thank you very much !

今回交流してくれたのは、絵を描くことが好きなハナ、音楽と料理と猫が好きなエリック(ヒューカ)、乗馬と友達の冗談が好きなアネリー、ビデオゲームとジャガイモが好きなブルーノ、サッカーとカツレツが好きなキーヴィン、サッカーとビデオゲームが好きなアドリアン、アニメと格闘技が趣味のジャスティン、週に7回ビデオゲームをするエリック(アーモン)、バレーボールが好きなヤニカ、サッカーとトラペットとピザが好きなヤコブ、そしてラウラでした。ありがとうございました！



ハナ



ヤコブ



ラウラ